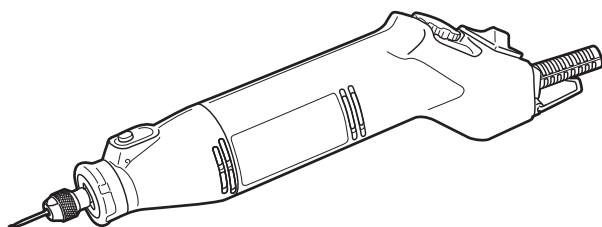


ホビールーター HR-100

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称	7
■仕様・付属品・用途	7
■別販売品	8～9
■操作方法	10～11
■先端工具の取付け、取外し	12～14
■ご使用方法	15～16
■保守と点検	17
■保証書	裏表紙



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は、「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

警告

- ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. **電源コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
 5. **屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。**
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- C) 作業者に関する安全事項
1. **油断しないで十分注意して作業してください。**
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
 2. **十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。**
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
 3. **アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。**
 - ・ アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
 4. **安全保護具を使用してください。**
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
 5. **不意な始動は避けてください。**
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
 6. **電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。**
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
 7. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかり固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

8. **きちんとした服装で作業してください。**
 - ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
9. **集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。**
 - ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. **無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。**
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
2. **スイッチに異常がないか点検してください。**
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
3. **意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
 - ・ 保管、または修理する場合
 - ・ その他危険が予想される場合
4. **使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。**
 - ・ 不慣れな方のご使用は危険です。
5. **電動工具の保守点検をしてください。**
 - ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
 - ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
 - ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
 7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
 - ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。
 8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。
 - ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
 - ＜異常・故障例＞
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 等すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警告

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. むれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。

ホビールーターご使用に際して

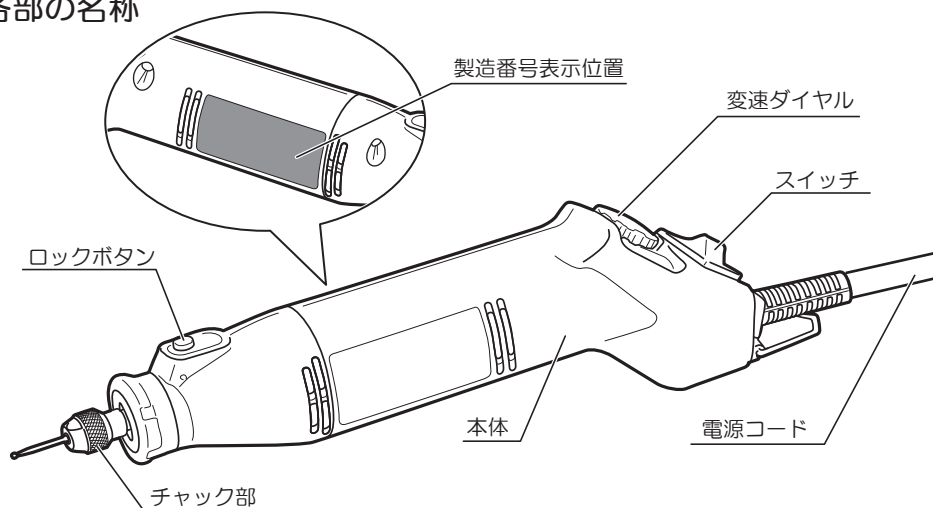
先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、ホビールーターをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねを着用してください。
また、切削、研削粉じんを吸込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
3. 先端工具（アクセサリー）は純正品を使用してください。
 - ・ 異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 先端工具（アクセサリー）の軸が曲がったものや、砥石などにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ 異常があると、先端工具（アクセサリー）が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中は、振回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 水、研磨液などは使用しないでください。
 - ・ 感電事故のもとになります。
7. 本体を万力などで固定した使い方はしないでください。
8. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 加工する材料は確実に固定してください。特に、小さい材料を加工する場合はバイスなどで動かないように固定してください。
 - ・ 加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
10. 作業前に、刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また、引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
 - ・ 研削粉は火花となって飛散するので、火災ややけどの原因になります。

各部の名称・仕様・付属品・用途

●各部の名称



●仕様

- ・電源 …………… 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・消費電力 …………… 100W
- ・無負荷回転数 …………… 8,000～23,000min⁻¹
- ・取付ビット軸径 …………… 2.35mm, 3.0mm
- ・コード長さ …………… 2m
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ）……………226 × 44 × 62mm
- ・質量 ……………0.45kg
- ・絶縁方式 …………… 二重絶縁

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

●付属品

- ・コレット（径）2.4mm …………… 1 （本体組込）
- ・コレット（径）3.0mm …………… 1
- ・片ロスバナ …………… 1
- ・ハイスビット（6本組）…………… 1
- ・キャリングケース …………… 1

●用途









- ・ガラス彫刻、一般彫刻、彫金、金型修正、模型工作、金属の磨きなど。
用途に合わせた別販売品（アクセサリ）を用意してください。
付属品のハイスビットは鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削用です。

別販売品

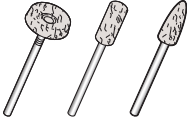




●先端工具（アクセサリー）

⚠ 警告

・先端工具（アクセサリー）は、必ず指定の純正品を使用してください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。

<p>●215ダイヤモンドビット (用途) ガラス、陶器の彫刻、研磨</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/1.6mm (長さ4mm)・材質/ダイヤモンド電着	<p>●720ハイスビット (用途) 鉄、アルミ、真鍮、プラスチックの切削</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/5.0mm・材質/ハイス
<p>●222ダイヤモンドビット (用途) ガラス、陶器の彫刻、研磨</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/1.8mm・材質/ダイヤモンド電着	<p>●770軸付砥石 (用途) 金属、ガラス、陶器、宝石の研削</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/3.0mm~6.0mm・材質/GC砥石
<p>●291布・皮・フェルトパフ (用途) 金属、宝石、ガラスの仕上げ、磨き</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/22mm・材質/布、皮、フェルト	<p>●771軸付砥石 (用途) 金属、ガラス、陶器、宝石の研削</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/3.0mm~8.0mm・材質/GC砥石
<p>●710ハイスビット (用途) 鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/2.3mm~3.1mm・材質/ハイス	<p>●790ダイヤモンドビット (用途) ガラス、陶器の彫刻、研磨</p>  <ul style="list-style-type: none">・軸径/2.35mm・先端径/1.8mm・材質/ダイヤモンド電着

別販売品

<p>●800純毛バフ (用途) 磨き、つや出し</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径/2.35mm ・先端径/7.0mm~16mm ・材質/純毛 	<p>●960ワイヤブラシ (用途) 鉄、非鉄金属の磨き</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径/2.35mm ・先端径/6.0mm、22mm ・材質/真鍮
<p>●850ミニドリル (用途) 金属、非鉄金属の穴あけ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径/2.35mm ・先端径/ 0.5mm/0.8mm (長さ6mm) 1.0mm (長さ8mm) ・材質/ハイス 	<p>●980ロールペーパー (用途) 研磨、仕上げ (内側、穴の研磨にも)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径/3.0mm ・先端径/ 10mm×8.0mm×10mm (外径)×(内径)×(長さ) ・材質/#120ペーパー
<p>●ハイスビット (付属品) (用途) 鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径/2.35mm ・先端径/0.8mm~2.3mm ・材質/ハイス 	

※ 先端工具 960 ワイヤブラシの取付けに次の工具を使用します。ご準備ください。
必要工具：⊖ドライバー



- ・別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



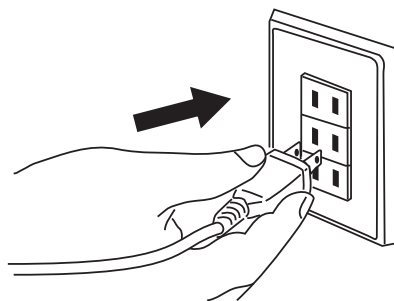
操作方法

●電源の接続とスイッチ操作

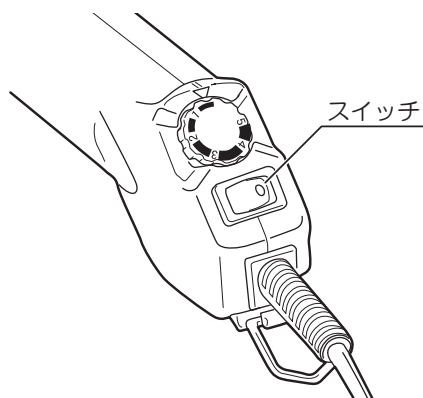
⚠ 警告

- ・ 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
- ・ 使用後や点検、先端工具（アクセサリ）の交換の際はスイッチを切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを所定の電源コンセントに確実にさし込んで接続します。
電源の接続ができましたら、スイッチを操作します。



- ・ スイッチは○の付いた方を押すと入り（ON）、マークのない方を押すと切る（OFF）となります。

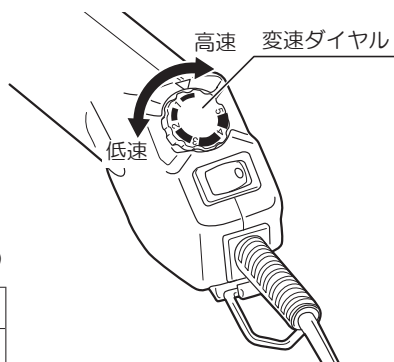


操作方法

●速度調整について

- ・変速ダイヤルを右に回すと高速となり、左に回すと低速になります。

加工材の材質、お使いになる先端工具（アクセサリー）に合わせて表を目安に回転速度を調節してください。



回転数目安表

(表 1)

変速ダイヤル位置	無負荷回転数 (min ⁻¹)
1	8,000 ~ 12,000
2	12,000 ~ 14,000
3	15,000 ~ 18,000
4	18,000 ~ 21,000
5	21,000 ~ 23,000

(表 2)

先端工具 (アクセサリー)	最高使用回転数 (min ⁻¹)	変速ダイヤル 推奨範囲
ハイスビット (付属品)	25,000	3 ~ 5
215 ダイヤビット	30,000	3 ~ 4
222 ダイヤビット	30,000	3 ~ 4
291 布、皮、フェルトパフ	10,000	1
710 ハイスビット	30,000	3 ~ 4
720 ハイスビット	30,000	3 ~ 4
770 軸付砥石	25,000	4 ~ 5
771 軸付砥石	25,000	1 ~ 5
790 ダイヤビット	30,000	3 ~ 5
800 純毛パフ	15,000	1 ~ 2
850 ミニドリル	25,000	1 ~ 5
960 ワイヤブラシ	15,000	1 ~ 2
980 ロールペーパー	20,000	2 ~ 4



軸付砥石は、最高使用回転数を超えて使用しないでください。

先端工具の取付け、取外し

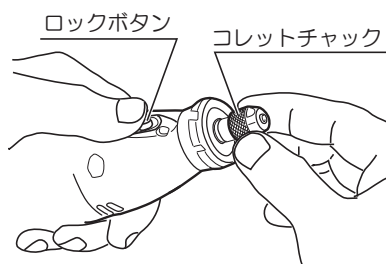
⚠ 警告

- ・ 先端工具（アクセサリー）の取付け、取外しの際はスイッチを切り、必ず電源プラグを電源コンセントより抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ 必ず指定の純正品の先端工具（アクセサリー）を使用してください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなどの故障の原因になるだけでなく、けがの原因になります。
- ・ 作業に入る前には必ず試運転をしてください。
- ・ スイッチを入れる前にはスパナなどの工具を必ず取外してください。また、必ずロックボタンが戻っていることを確認してからスイッチを入れてください。

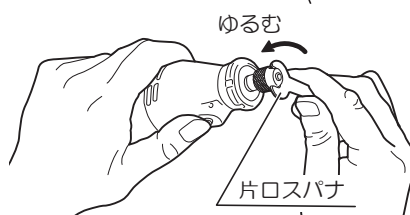
⚠ 注意

- ・ 先端工具（アクセサリー）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

- ・ ロックボタンを軽く押えながら、コレットチャックを指で回し、回転軸が固定される位置を捜し、固定します。



- ・ そのまま、ロックボタンを押え、付属品の片ロスパナでコレットチャックを回してゆるめます。



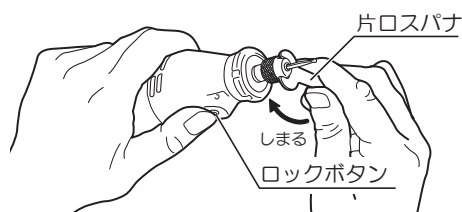
● 軸径 2.35mm の先端工具

- ・ 工場出荷時に 2.4mm のコレットがセットされています。
- ・ 軸径 2.35mm の先端工具（アクセサリー）を取付けるときは、コレットチャックをゆるめ（2.4mm のコレットを抜取らないで）、チャックの先端に、先端工具（アクセサリー）の軸をさし込みます。確実に奥に当たるまで入れてください。
- ・ ロックボタンを押え（回転軸を固定し）たまま、片ロスパナを使いコレットチャックを締付け、先端工具（アクセサリー）の軸を固定します。



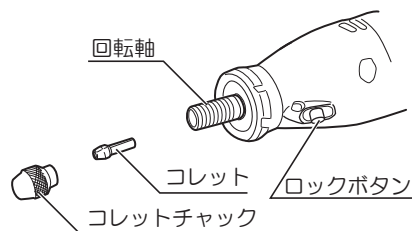
先端工具の取付け、取外し

- ・ 先端工具（アクセサリ）を抜取るときは、ロックボタンを押えて回転軸を固定し、片ロスパナをコレットチャックをゆるめ、先端工具の軸を持って引抜きます。

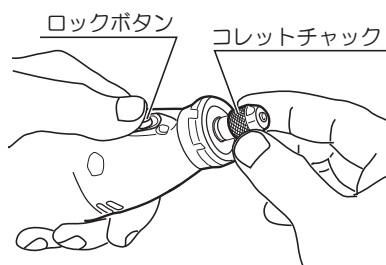


● 軸径 3.0mm の先端工具

- ・ ロックボタンを押えて回転軸を固定し、片ロスパナでコレットチャックをゆるめ、2.4mm のコレットを回転軸先端より取外します。

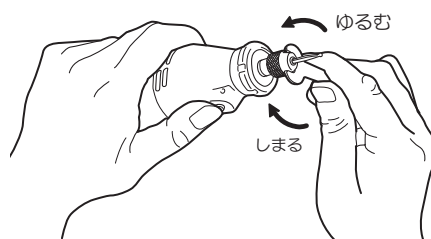


- ・ 3.0mm のコレットを回転軸先端に合わせ、入れます。コレットチャックをかぶせ、抜落ちない程度に指で軽く締めます。



締付けすぎると、先端工具（アクセサリ）の軸が入りません。

- ・ 先端工具（アクセサリ）の軸を、チャックの先から奥に当たるまで入れます。
- ・ 片ロスパナを使って確実にコレットチャックを締め付け、軸を固定します。
- ・ 先端工具（アクセサリ）を取外すときは、ロックボタンを押えて回転軸を固定し、片ロスパナを使ってコレットチャックをゆるめます。
- ・ チャックをゆるめたのち、先端工具の軸を持って引抜きます。
- ・ 2.4mm のコレットに戻すときも、同様の操作で交換します。

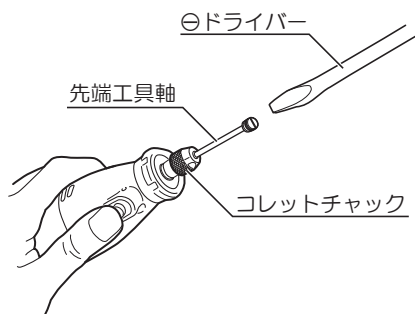


● 960 ワイヤブラシ

⚠ 警告

- 必要以上に締付けると変形することがあります。また、締付けのゆるいものは、けがの原因になります。軸への取付け後は、身体から離れた状態で、必ず試運転をしてください。

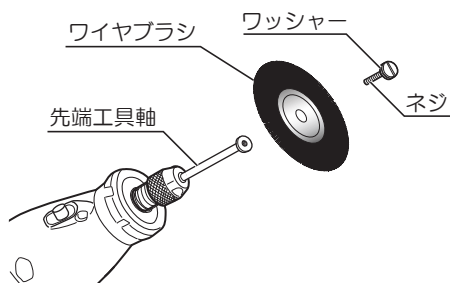
- 先端工具（アクセサリー）の軸をペンチまたはホビールーターのチャックでつかみ、確実に固定したのち、お手持ちの⊖ドライバーで軸先端のネジをゆるめ、取外します。



- ワイヤブラシの中央穴に、ネジの軸を通したのち軸にネジを締付けて取付けます。

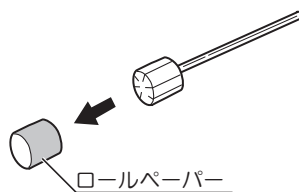


締付けがゆるいと、楕円に回転します。また、ネジが外れてワイヤブラシが飛ぶことがあります。



● 980 ロールペーパー

- ロールペーパーの内側へ、軸先端のゴム部分を指で押え、押込みます。確実にセットしてください。



ご使用方法

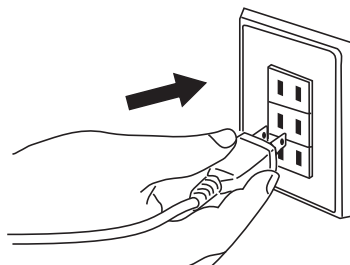
⚠ 警告

- ・ 巻込み事故防止のため、手袋などの着用は絶対にしないでください。
- ・ 保護めがねを着用してください。また、切削、研削粉じんを吸込まないようにマスクを着用してください。
- ・ 作業中は、目を先端工具部分に近づけないでください。けがの原因になります。
- ・ 本体や先端工具（アクセサリ）に衝撃をかけますと砥石などはヒビが入ったり割れたりするおそれがありますので、取扱いには十分注意してください。
- ・ 加工する材料は確実に固定してください。特に小さい材料を加工する場合はバイスなどで動かないように固定してください。加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
- ・ 作業前に刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また、引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。研削粉は火花となって飛散するので、火災ややけどの原因になります。
- ・ 必要以上に押付けないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や先端工具（アクセサリ）の変形、破損事故の原因となります。
- ・ 万一本体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは必ず本体に破損などがないことを十分確認してください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

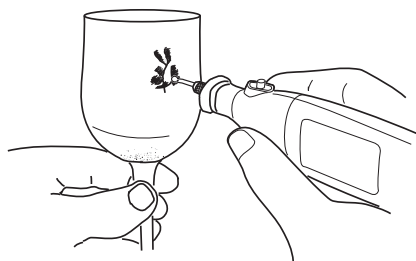
⚠ 注意

- ・ 滑りやすい材料を加工する場合は、加工材をしっかりと保持固定し、慎重に作業を行ってください。
- ・ 作業中は、ロックボタンにさわらないでください。誤って押すと、けがの原因になることがあります。

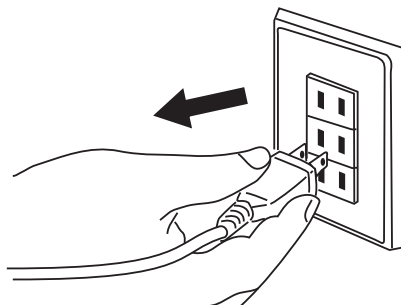
- ・ 電源プラグを電源コンセントに接続する前に、先端工具（アクセサリ）がチャック部に確実にセットされていることを確認してください。
- ・ 身体を安定した姿勢にし、加工材をしっかりと保持するか、ものによっては固定するなどしてください。
- ・ スイッチが切る（OFF）となっていることを確認してから、電源を接続します。



- ・ スイッチを入れ（ON）、適正な回転速度を設定し、回転が安定してから作業を開始してください。
- ・ 回転がいちじるしく落ちるほど、強く押えて使用しないでください。
- ・ 作業の途中で、先端工具（アクセサリー）を交換するときは、スイッチを切った（OFF）のち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 先端工具（アクセサリー）が熱くなっていることがあります。手で触っても熱くない程度まで冷えたことを確認してから、交換作業をしてください。
- ・ 作業中、本体が熱くなったときは一旦作業を中断し、冷えてから再開してください。



- ・ 使用後は、スイッチを切った（OFF）のち、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・ 電源プラグは、必ず手で持って抜いてください。コード部分を持って引抜かないでください。
- ・ 回転が止まっていることを確認してから、粉じんなどを取除き、次回の使用に備えてください。



保守と点検

⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ 各部を点検し、ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・ 使用後は、粉じんなどを取除いたのち、先端工具（アクセサリー）を取外して保管してください。
- ・ 先端工具（アクセサリー）は乾いた布で軽く汚れをふき取るようにしてください。チャック部分には、サビ防止のため薄くサビ止め油を塗っておいてください。
- ・ 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。

●修理について

- ・ 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- ・ その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ

 **0570-666-787**

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

保証書

持込修理

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	HR-100	製造番号（表示位置は「●各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
		電話 ()
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キスなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

